

# ほっとアングル Hot Angle



## 唐川びわまつり

6月25日、唐川コミュニティーセンターで『第24回唐川びわ祭り』が開催されました。

当日は、あいにくの雨でしたが多くの来場者があり、特産品のびわの直売やびわ葉茶などの加工品販売、地域の方々によるバザーなど大変なにぎわいとなりました。

また、午後からは恒例となった「びわの種飛ばし国際？大会」が行われ、幼児から大人まで115人が参加し、種を飛ばすときに見せる表情や好記録に会場にいるお客さんも一緒になって盛り上がっていました。

今回の種飛ばし最高記録は、10m95cmでした。



## 下灘みなと祭り

7月16日、双海町串地区の豊田漁港で『下灘みなと祭り』が開催されました。

大漁を祈願する神事からはじまり、大漁旗をなびかせながら勇壮に海上をはしる漁船パレード、一般の方でも参加できる魚の競り市などの海の催し物と、スイカや桃、カブトムシの販売が行われており、下灘地区をあげてのお祭りとなっていました。

夕方からは、地元小学生による太鼓の演奏や剣道の演技披露、カラオケ大会と続き、伊予市で今年の夏、最初の花火が真っ黒い夜空に打ち上げられました。

## 五色姫海浜公園サマーフェスティバル

7月16日・17日、五色姫海浜公園で『サマーフェスティバル』が開催されました。

今年は、2日間の日程で行われ、ビーチバレー、餅撒き、あさり潮干狩りが行われました。

ビーチバレー(ファーストクラス)では、プロさながらのジャンピングサーブや強烈なアタックなど白熱した試合が繰り広げられました。また、あさり潮干狩りでは波打ち際を埋め尽くすほどの参加者が訪れ、バケツや袋をいっぱいにして持ち帰る家族の姿が見られました。



## サッカーマッチシティー伊予市

7月17日、愛媛県総合運動公園で『愛媛FC対水戸HH戦(マッチシティー伊予市)』が開催されました。

会場の前には、伊予市の特産品コーナーが設置され、試合に訪れたサポーターらがじゃこ天や中山特製ジュースなどを買い求めていました。

両チームの入場では、伊予市から伊予少年サッカースクールと上灘少年サッカークラブの2チームが、選手たちと手をつなぎ入場。子どもたちは、めったに会うことのないプロ選手を間近で見ることができ、興奮した様子での入場となっていました。

試合結果は、0対1と敗れたものの、応援に駆けつけた大勢の伊予市民やサポーターたちは、頑張った選手に惜しみない拍手を送っていました。



## 人命救助者表彰

6月22日、伊予警察署で人命救助をしたことによる感謝状の贈呈式が行われました。

米湊のため池で溺れていた幼児を発見し、すぐさま自身の危険を顧みず飛び込み救助した三塚優さん(稲荷)と即座に消防に通報し救急車を手配した印野高弘さん(稲荷)に感謝の意を表して、伊予警察署と伊予地区防犯協会から感謝状が贈られました。



## 郡中校区田植え体験学習

6月18日、郡中小学校の近くの愛護班学習田で、『田植えの体験学習』が行われました。

今年は150人以上の参加があり、子どもたちは指導者に教えてもらいながら、一列に並んで苗を植えていきました。秋には稲刈り・稲木干しなどの収穫体験やしめ縄づくり体験、できたお米をおいしく食べるという学習が予定されています。



## 第14回 組合救助選考会

6月28日、伊予消防署で、『消防隊員の救助選考会』が開催されました。

日ごろから人命救助を第一として働く消防士たちは、選考会においても規律正しく行動し、ロープ渡り競技やはしご・ロープで高さ15mを一気にのぼる競技などを行い、救助者がいるかのように真剣かつ迅速に競技に臨んでいました。



## 双海少年少女おもしろ教室

6月24日、双海少年少女おもしろ教室『火おこしとまが玉づくり体験』が開催されました。

最初は火おこし器のコツがつかめませんでしたが、だんだん慣れて煙が出ると「がんばれ!もう少し!」と周りから応援が飛び交っていました。

その後、お気に入りのデザインで作ったまが玉を胸にかけ、太古のロマンに触れることができました。